

センター通信

駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター

樹木博士認定会

駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センターでは、森林環境教育の一環として、平成16年から七飯町大沼に近接する西大沼国有林に樹木博士認定常設コースを設定し、毎年数回の樹木博士認定会を行っています。



樹木博士認定常設コース案内板

樹木博士認定会とは、樹木の名前や識別方法を学習し、それをきっかけとして森林に親しんでもらうことを目的としたアウトドア活動です。

具体的には、応募された参加者にガイドブックを事前配布し、認定会当日は学習コースをガイドブック片手に講師の説明を聞きながら、実際に樹皮や枝葉に触れて識別方法を学習し、樹木の名前を覚えて行きます。

次にテストコースを周り、用意された二十種類の樹木をよく観察し、特徴を思い出して解答用紙に記入します。正解数に応じて段・級の位を決定し、樹木博士認定書が授与されます。

これまでに、延べ二千六百七十八名に樹木博士の称号を付与しており、森林管理署の若手職員も、樹木の名前を覚えるための研修として参加しています。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大により、全て中止となってしまいました。今年は、第1回と第4回は中止となりましたが、開催できた第2回の7月4日には、女性のお友達二人の1組が初参加していただきました。



第2回樹木博士認定会

また、第3回の8月1日には、小学生の息子さんと

お父さんの1組が初参加していただきました。



第3回樹木博士認定会

どちらの回も2名の参加にとどまり、寂しいかぎりではありましたが、来年は、森林とふれあうきっかけとして、多くの方が樹木博士認定会にご応募いただけるようPRしたいと思います。

森林づくり塾

当センターでは、ほかにも森林ボランティア活動への参加意識の醸成と森林環境教育のリーダー的存在となり得る人材育成を目的とした「森林づくり塾」を開講し、塾生を公募しています。

森林づくり塾は、年に数回、森林作業等を体験し、森林の役割や森林づくりの基礎を学んでいただけます。

また、渡島総合振興局東部森林室主催の「森への誘い講座」との共同開催や相互参加など連携した企画を実施しています。



森林づくり塾

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大により「森への誘い講座」がすべて中止となり、「森林づくり塾」も全5回のうち植付体験と治山施設見学会の2回の実施となりました。

来年は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら予定どおりすべて実施できればと思っていますので、多くの方にご応募いただけたらと思います。

参加をご希望される方、または興味をお持ちの方は、当センターにお気軽にお問い合わせください。